

中学校第2学年 国語科 学習指導案

天理市立福住中学校

神 元 聡

1 単元名 「モアイは語る―地球の未来」(全8時間)

2 単元の目標

- 文章の構成や論理の展開を的確にとらえ、事実と筆者の意見を的確に読み取ることができる。 **【知識及び技能】**
- 自分が伝えたい事実や事柄を明確にして、今まで身につけた知識や体験と関連付けて文章の構成を工夫して、意見文を作成できる。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- 身の回りを見つめて、持続可能な社会に向けて、同意を得られるような根拠を拠り所にして、自分の意見をもつことができる。 **【学びに向かう力、人間性等】**

3 単元について

(1) 教材観

本教材は、根拠となる事実、その事実が物語っていることが、問題提起と結論を繰り返すことで、テンポのある文章構成で展開している。まず、文章構成と論理の展開を理解させ、筆者の意見を要約させることにより、筆者の思いを理解する力の習得を目指す。次に、この文章で理解した文章構成の工夫を参考にしながら、意見文を書くことで、文章構成や論理の展開のしかたの重要性を再確認し、持続可能な社会へ向けて自分事として行動できる力の育成を目指したい。

(2) 生徒観

この学年は小学校の時に、自分の考えや思いを表現できるように、毎日、新聞記事について、話し合ったり、意見を言い合ったりしており、国語科における「話すこと」の領域を丁寧に指導されてきた。しかし、抽象的な言葉や専門用語が多く出てくる教材について、読解したり意見を持ったりすることに関して、やや学習意欲が低くなる傾向がある。文章の構成をとらえる学習は、1年生の時に問題提起とその答えを見つける学習、2年生の1学期に「事実」から「考察」への論理展開などを学んできたため、記述されている内容を大雑把に理解することはできていると感じるが、文章を要約し必要な情報を取り出して文章を再構成することについては苦手意識を持っているように感じている。

(3) 指導観

まず、文章の構成や論理の展開を的確にとらえ、「事実」と「筆者の意見」を的確に読み取ることにより、新学習指導要領「C読むこと」の「文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること（C読むことイ）」の習得を目指したい。

次に、学習した「文章の構成」や「論理の展開」について考えながら、自分が伝えたい事実や事柄を明確にして、意見文を書かせたい。テーマは、時間の関係上、こちらで用意した、本校の給食残飯についての資料を提示し、「文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめること（C読むことウ）」と「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして文章の構成を工夫すること（B書くことイ）」の習得を目指していきたい。身の回りの身近な出来事に目を向け、持続可能な社会に向けて自分の意見をしっかりと構成した文章に仕上げ、アウトプットする機会としたい。

(3) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

有限性…地球の資源には、限りがあることを知ることができる。

相互性…人間の営みが、自然環境に影響を与えていることが理解できる。

公平性…自己中心的になると、全体として破滅していくことに気づくことができる。

連携性…私たちの生活は、地球全体で支えていることに気づくことができる。

責任制…地球環境を考えて行動することの重要性に気づくことができる。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

システムズシンキング…本教材に書かれている内容を理解することで、森林資源の枯渇は世界全体の破滅につながることに気づくことができる。

クリティカルシンキング…本校の給食の残飯現状について意見文を書く時に、他人の意見を傾聴し、意見を戦わせる中で、自分の意見を確立し、自分にできることを見けることができる。

未来を予測して計画を立てる力…現在の森林資源の重要性や現在の食糧問題について理解を深める中で、未来に向けて自分事として計画的に行っていくことができる。

・ 本学習変容を促すESDの価値観

自然環境・生態系の保全を重視する…森林の重要性を知り、一人一人の行動が変容することにより、自然環境を守ることができる。

世代間の公正…食糧問題を考える中で、自分の世代だけでなく未来へ繋いでいこうと行動することができる。

コミュニケーション力…意見文を書くために、友達など周りの人の意見を共感的に聞き、自分の意見を分かりやすく発信することができる。

・ 達成が期待されるSDGs

目標 1 5 森が消滅することが、私たちすべての生活に関連していることを知り、自分事として陸の豊かさの保全に向けて行動することができる。

目標 1 2 給食の残飯問題を考えるなかで、使う分だけ作ることの重要性、また作ったら大事に消費することを自分事として考えることができる。

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
1 文章の構成や論理の展開について理解し、筆者の意図を読み取っている。	1 自分が、伝えたい事実と意見を明確にして、文章を書いている。	1 身近な出来事と照らし合わせながら、自分事として、問題意識をもって課題に取り組もうとしている。
2 相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることについて理解している。	2 文章の構成や論理の展開について、工夫して文章を書いている。	2 書いた意見文を、文章の構成や材料の活用の仕方などについて見直し、よいものにしようと、粘り強く推敲している。

5 単元の指導計画（全8時間）

次	主な活動	学習への支援	評価・備考
1	<p>○単元の目標を知り、学習の見通しを立てる。</p> <p>○本文を読む。</p> <p>○文章の構成と論理の展開をとらえる。</p> <p style="text-align: right;">（3時間）</p>	<p>○学習の流れのプリントを見ながら確認し、最後に意見文を書くことを明示する。</p> <p>○「モアイが何を語っているのか」の初発の感想を書くことで、今後の文章理解に役立てる。</p> <p>○「序論・本論・結論」の構成と「問題提起」「事実」「結論」を明確にして進める。</p>	<p>ウ1 （主体的） ワークシート</p> <p>ア1 （知・技）</p> <p>ア1 （知・技）</p> <p style="text-align: right;">プリント学習</p>
2	<p>○筆者の意見を要約する。</p> <p>○提示された「本校の給食の残飯の資料」を見て、「残飯を0にするにはどうしたらいいのか」について、意見文を書く。</p> <p style="text-align: right;">（4時間）</p>	<p>○モアイが語った事実と照らし合わせながら、文章の構成の工夫を確認し、筆者の意見を要約する。</p> <p>○自分の意見をまとめるための時間を1H設ける。（インターネット、書籍、友達の意見、調理員さんへのインタビューなど）</p>	<p>ア2 （知・技）</p> <p>イ1 （思判表）</p> <p>イ2 （思判表）</p> <p style="text-align: right;">日々残飯記録</p>
3	<p>○文集を作成し、意見交流会を実施する。</p> <p style="text-align: right;">（1時間）</p>	<p>○文集は、紙ベースではなくクラスルームで作成する。</p> <p>○交流会は、少人数なのでサークル対話で行う。</p>	<p>ウ1 （主体的）</p> <p>ウ2 （主体的）</p> <p style="text-align: right;">chromebook</p>